

3.京都府-①.舞鶴市三浜

(1) 概要



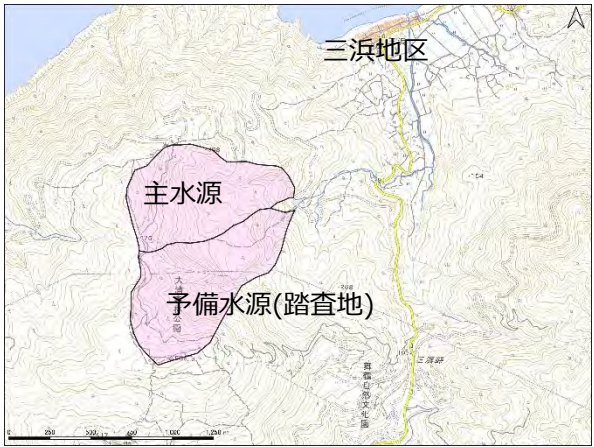
施工地の位置図(地すべり地形が多く分布し、施工地も地すべり地形)

平成7年度水質保全環境整備治山事業によって施工された。大浦半島に位置する。市の上水道は由良川が水源であるが、日本海の海岸に面する三浜地区は、現在も当該表流水を水道水源として活用。用水取水タイプの濁水移動域における複合型施設として区分した。集水面積は50.3ha。なお、隣接する主水源の集水面積は43.8haである。

三浜地区は、平成初期の夏季は海水浴客でにぎわい、生活用水がひっ迫し、水道水源の水量と水質に関する要請が大きい地区であった。現在は、海水浴客の減少とともに、集落人口の高齢化などに伴い水需要は安定している。



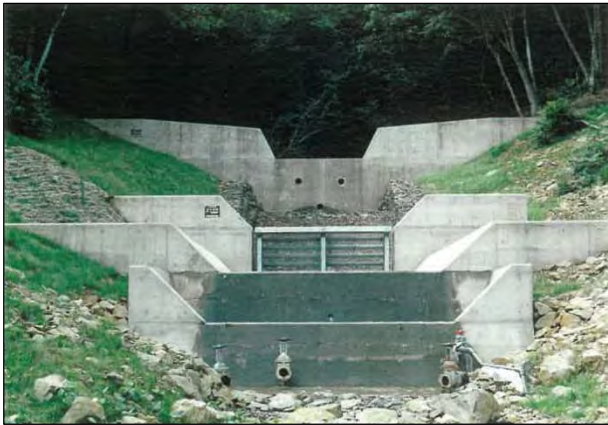
施工地集水域の鳥瞰イメージ



平面図

3.京都府-①.舞鶴市三浜

(2) 施工当時の状況



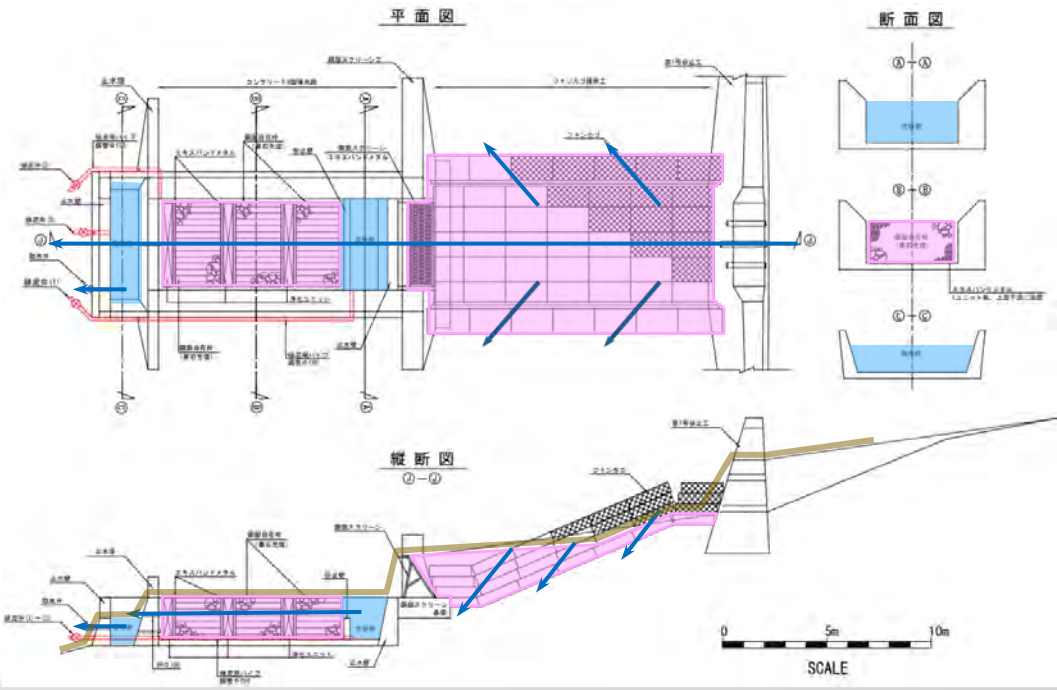
下流から上流方向



上流の治山ダムとフトンカゴ流路工



上流から鋼製スクリーンダムと3面張流路部



上流の治山ダムにより濁質を固定。渓流水はフトンカゴ流路とスクリーンダムを透過後、計画勾配0%のコンクリート3面張り水路へ流下する。

湛水しながら水平方向に移動して鋼製枠部の石礫→エキスパンドメタル→木炭浄化フィルタを透過する。

洪水時の表流水は、鋼製枠部の表面を表流する。

- ← 流下・浸透方向
- 透過部(鋼製枠・フトンカゴ)
- 平水時湛水部
- 洪水時・目詰まり時湛水部

3.京都府-①.舞鶴市三浜

(3)-1 現地踏査結果



出水時(令和3年2月15日13時撮影)



スクリーンダム堆砂敷 容易に濁水が発生。



スクリーンダムの水叩 濁水で鋼製杵は見えない



平水時(令和3年2月16日9時撮影)



平水時のスクリーンダム。



水面下の鋼製杵

令和3年2月15日の午前中に降水があり、舞鶴湾が黄変するほど各河川で濁水が発生。しかし、翌日には平水に戻り、濁水は目立たなくなる。ダムの堆砂敷表面には、濁質が集中しており、歩くと容易に濁水が発生する。